

# 2007 ニッケレポート

第177期 (平成18年12月1日~平成19年11月30日)

日本毛織株式会社



**NIKKE**

## 人と地球に「やさしく、あったかい」企業グループとして、 わたしたちは情熱と誇りをもってチャレンジして行きます。

株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。ここに第177期(平成18年12月1日から平成19年11月30日まで)のニッケレポートをお届けするにあたり、ご挨拶をかね業績の概況をご報告申し上げます。

**当期における経済環境は**、企業収益の改善を背景とした堅調な設備投資等により、景気は緩やかな拡大を続けました。しかしながら、原油価格の高騰に加え、米国のサブプライムローン問題の世界経済への影響により、景気の先行きには不透明感が強まりました。

**このような情勢のなか**、当社グループは「ニッケグループNN2008経営計画」の初年度として以下の具体的取り組みを進めました。売上高については、M&Aの早期実現により、1年前倒して1,000億円超を達成いたしました。

**繊維事業におきましては**、オーストラリアの干ばつによる羊毛原料の高騰など厳しい環境が続きましたが、中国における織物一貫生産体制の強化や中国・欧米への販路拡大を推し進めました。また、商品開発においては「スーパーソフポート」「ライトツイスト」「エアロツイン」などの高機能素材を商品化いたしました。

**非繊維事業におきましては**、ペット関連事業におけるTVコマーシャルの実施や通信関連事業の拡大、商業施設「ニッケコルトンプラザ」のリニューアル増床の決定等、生活関連事業の積極的な展開を推し進めました。

**以上の結果**、連結売上高は1,028億円弱(前期815億円余)、連結経常利益は70億円余(前期65億円余)、連結当期純利益は44億円弱(前期41億円強)となりました。

**配当金につきましては**、株主の皆様のご期待に応えるため、昨年の創立110周年記念配当3円を当期より普通配当に切り替え、年間合計17円としております。昨年8月に中間配当として1株につき7円お支払いいたしましたので、当期の期末配当につきましては、1株につき10円とさせていただきます。

**当社グループは**、「ニッケグループNN2008経営計画」に基づき、次年度における連結売上高1,000億円超、純利益50億円、1株利益60円を目標としています。同時に創立120周年の節目を目指して「ニッケグループ中長期ビジョン(NN120ビジョン)」を策定し、グループの経営理念・経営方針を定め、ビジョン実現に向けての準備を進めてまいります。

また、コンプライアンス、環境配慮、社会貢献という「企

業の社会的責任」を一層意識し、ニッケグループ全部門で企業倫理のさらなる定着を図るとともに、より実効性のある内部統制システムの構築に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



平成20年2月  
代表取締役社長

降井 利光

## ニッケグループ NN2008経営計画 (2007~2008)

### ◆ 経営目標

		2006年度実績	2007年度実績	2008年度目標
売上高	繊維	53,076	65,903	65,000
	非繊維	28,424	36,868	40,000
	計	81,500	102,771	105,000
営業利益	繊維	2,483	2,967	3,800
	非繊維	3,568	3,741	4,500
	計	6,052	6,709	8,300
経常利益		6,519	7,004	8,300
純利益		4,143	4,380	5,000
1株当たり純利益(円)		50	53	60

### ◆ 基本戦略

1,000億円企業として収益水準を高め、持続的な成長を可能とする事業構造を構築する

1. 衣料繊維事業は国際競争下での収益構造を確立し絶えざる成長を指向する。
2. 生活・産業資材事業、エンジニアリング事業、商業施設・スポーツ施設等の生活関連事業への経営資源の重点配分を継続し収益向上を目指す。
3. 独立企業と同様の採算意識を持った、自己変革する事業部を指向する。
4. 前中期経営計画において新たに加えたグループ会社については、成長と確実なシナジー効果の発揮により、グループ全体の収益に貢献する。

## ニッケコルトンプラザ、リニューアル決定



当社が所有・管理運営するショッピングセンター「ニッケコルトンプラザ(千葉県市川市)」において、既存本館部分の全面改修ならびに新たに約6,600m<sup>2</sup>の増床を行うリニューアル・増床計画を決定しました。リニューアルコンセプトは「0.7歩先に行く“ちょっといいね”」。専門店テナントについては現在の162店舗から190店舗へと増加し、よりお客様に満足いただける施設を目指します。グランドオープンが開業21年目に当る平成21年春を予定しております。

## ニッケグループ中長期ビジョン(NN120ビジョン)

ニッケは2016年(平成28年)に創立120周年を迎えます。  
この節目に向かって、更にはその先を目指して行くための羅針盤として、  
この度「ニッケグループ中長期ビジョン(NN120ビジョン)」を策定し、  
ニッケグループの目指す方向性とあるべき企業像を明確化することと致しました。

### 経営理念

“人と地球に「やさしく、あったかい」企業グループとして、  
わたしたちは情熱と誇りをもってチャレンジして行きます。”

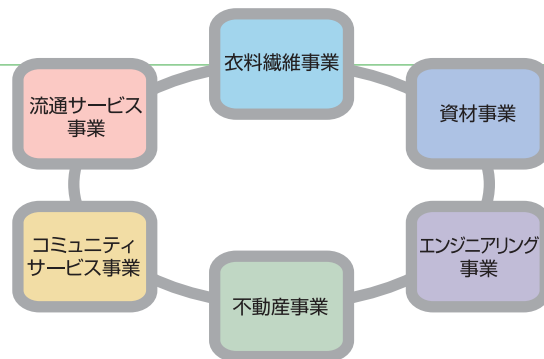
- ウールで培った技術の追求と環境への配慮により、新しい価値を創造します。
- 心を込めて人間家族や地域社会に貢献し、たしかな生活文化を創造します。

### 経営方針

- 社員の幸せを追求し、希望と生きがいの持てる企業グループを目指します。
- 企業価値の最大化を通して、顧客や株主との持続的な信頼関係を築きます。
- 研究開発を強化し、品質と感性・革新性に根ざしたNo.1の商品とサービスを提供します。
- 変化をチャンスと捉え、既存事業の改革と新規事業の開拓に挑戦します。
- 人材開発を重視し、各分野におけるプロフェッショナルとして行動します。

## ニッケグループの目指す方向性

ニッケグループの事業を経営の基本戦略が共通する単位で6つの事業領域に区分致します。全ての事業は等しく成長の可能性を持つものと認識し、全ての事業を「本業」と位置付けて成長発展を目指します。ディビジョンカンパニー制の下で、よりスピーディな事業経営を実現するために各事業と本社機構の役割と責任を明確化し、グループシナジーの最大化をはかります。



## 次期中期経営計画について

全てのステークホルダーにとって高い存在価値のある企業グループであるためには、持続的な成長が不可欠な要素であり、「前の年よりも少しでも成長を」という地道な積み重ねが大切と考えています。

当ビジョンは今後10年のニッケグループの方向性を示すためのものであり、このビジョンで掲げた目指す方向性とあるべき企業像を具体化して行くために、2009年度(平成21年度)を初年度とする3ヶ年の中期経営計画の策定に着手致します。

※「ニッケグループ中長期ビジョン(NN120ビジョン)」の詳しい内容につきましては、  
当社ホームページ(<http://www.nikke.co.jp/investor/message/index.html>)をご覧ください。

繊維事業 / 衣料繊維製品

**梳毛織糸**は、国内産地市場への安定供給とトップ染糸の拡販を推進するとともに、糸価格の値上げが市場に浸透したこともあり、増収となりました。ニット糸は国内向けの販売を維持する一方、中国等への海外販売が増加し、増収となりました。紡毛糸は産地需要が大幅減少の厳しい環境下で、前期並みを維持しました。手編毛糸は商品開発を進めましたが、前期並みに留まりました。

**紳士服**は、「清涼企画」素材や環境にやさしい開発素材の提案を行いました。スーツ需要の減少に加え、大幅な原材料・加工費の上昇によって受注量が減少し、減収となりました。

**婦人服**は、ファッション性に加え高品質の素材提案を行いました。気候の影響を受けた小売・アパレルの購買意欲が伴わず、減収となりました。

新製品・新技術

NIKKE

ふわっと軽く暖かい  
空気を織りこんだ、新感覚スーツ。

AIROTWIN  
エアロツイン

紡毛のふくらみと梳毛の軽さを実現!

**Warm** ● 空気をたっぷり含んだ  
特殊加工短繊維ワールの暖かさ!

紡毛のような風合いを持たせたふくら梳毛糸(特殊加工短繊維ワール)は、短くする過程で繊維の間に空気を取り込み、バルク性がさらにアップ! ふわっと空気を含んだ暖かさです。

**Light** ● 一般の秋冬スーツ素材に比べ、  
約20%軽量化!

AIROTWINは、嵩高性のある織物に対して、通常織物より約20%軽量化を可能にしました。ふわっと量感があがりながら軽い、まさに秋冬素材の理想形といえます。

**Soft** ● 毛足の美しいソフトな生地風合い

美しい目風とソフトな風合い。さらにカンマヤやアンゴラなどの獣毛素材をブレンドすることで、しなやかさや上品なツヤ感をプラス。ふわっと軽く暖かい快適な着心地です。

<http://www.nikke.co.jp>  
日本繊維販売株式会社

海外展示会



当社は国際ビジネスへの展開を図るため、欧米で開催される「プルミエール・ヴィジョン」や上海で開催される「Spin Expo」など、海外展示会へも積極的に参加しています。来場者からは高い評価を頂き、「NIKKE」の名前は海外でも浸透してきております。

**スクールユニフォーム**は、私学小等部・公立小中一貫校の新設などの動きがある一方、羊毛原料の高騰など大幅なコストアップという厳しい環境が続きましたが、価格改定を行うとともに学校・業界に対する「高品質」「高付加価値」「高機能」素材の積極的な企画開発提案が一定の成果を収め、さらにニット製品など周辺商品を拡販した結果、増収となりました。

**ビジネスユニフォーム**は、企業業績の回復傾向が大口需要には直結せず、官公庁の予算削減など厳しい環境下でありましたが、スクールユニフォーム同様に価格改定を行うとともに新機能・高付加価値素材の開発提案を積極的に進め、きめ細やかな受注促進、流通対策、QR製造対応、企画開発との連携など粘り強い活動を行った結果、前期並みの実績となりました。

## 繊維事業／繊維資材製品

**生活産業用資材は**、自動車・OA機器用途の旺盛な需要と楽器関係の回復に加え、輸出向け車両用断熱材・織フェルトが健闘するとともに、減少傾向であった衣料用芯地・手芸等の消費材分野も持ち直し、増収となりました。

**寝装品は**、天候不順に加え生産・流通の構造変化が続くなか、OEMを含む新規販売ルートの開拓・不採算ルートの見直し、中国生産の拡大などを行いました。主力のギフト・専門店ルートの苦戦が響き、減収となりました。

**カーペットは**、テニススクール不況によるテニスサーフェス販売

の低迷と改正建築基準法の施行による業務用途向けカーペットの不振で苦戦を強いられましたが、家庭用途向けカーペットの機能商材の投入と新規販路開拓が功を奏し、前期並みの実績となりました。

以上に加えて、流通機能の強化を目的に繊維商社1社を今期より連結対象会社とした結果、繊維事業の当連結会計年度の売上高は659億円余と前期比24.2%増となりました。

## 非繊維事業

**ショッピングセンター事業は**、ニッケコルトンプラザでの主力テナントの賃料減により、減収となりました。

スポーツ事業は、テニスは他のスポーツ施設との競合により伸び悩んだものの、ゴルフはイベントやスクール等の地道な営業活動と天候にも恵まれ、増収となりました。

**乗馬・ペット関連事業、介護事業、アミューズメント事業は**、ペットフードの商業効果、小規模多機能居宅介護事業の開始とデイサービスの利用者増等により、いずれも増収となりました。

**通信関連事業は**、新規グループ会社の寄与や、携帯電話番号ポータビリティによる市場の活況により、増収となりました。

**不動産事業は**、神戸市内の寮跡地等を新たに賃貸したことにより、増収となりました。

**エンジニアリング事業他は**、電源・計測器分野は低迷しましたが、自動車・エネルギー関連の設備投資は好調で、新規グループ会社の寄与もあり、増収となりました。また、M&Aによりラケットスポーツ用品、釣糸等の製造販売事業に進出し、増収となりました。

以上の結果、非繊維事業の当連結会計年度の売上高は368億円強と前期比29.7%増となりました。



ペットフード  
「ファーストチョイス」

■「ニック全日本テニス選手権82nd」に特別協賛

 **ニック全日本テニス選手権 82nd**



当社グループ事業と関連のあるテニスの支援と企業イメージ向上を目指し、財団法人日本テニス協会主催「ニック全日本テニス選手権第82回大会」において前年に引き続き特別協賛(冠スポンサー)を行いました。同大会は82回の伝統と“天皇杯”(男子シングルス)“秩父宮妃記念盾”(女子シングルス)を競う名実ともに国内最高峰のテニス大会で、昨年11月11日から18日に東京有明で開催されました。

今後も「めざせ世界を!ニックがサポートします」をスローガンに本大会を支援してまいります。

■当社専属

「中村藍子選手」2007年の活躍

テニススポーツ界の発展に向けて、当社は2005年10月から女子プロテニスプレーヤーの中村藍子選手と専属契約を締結しております。昨年の「ニック全日本テニス選手権第82回大会」では悲願の優勝を果たし、当社の企業イメージの向上と当社グループ関連事業への波及効果も更に期待できる戦績をあげました。



●世界ランキング102位 (WTA) (平成20年2月4日現在) ●日本ランキング3位 (JTA) (平成19年12月31日現在)

■第19回

加古川マラソン大会が開かれました。



当社発祥の地、兵庫県加古川市で当社単独協賛「第19回加古川マラソン大会」が開催されました。招待選手には「2007世界陸上大阪大会」でみごと銅メダルを獲得した土佐礼子選手を迎え、4千1百人ものランナーが、日本陸連公認の豊かな自然を満喫できる河川敷コースを快走しました。

## 第2回 ニッケ Pure Heart エッセー大賞/イラスト大賞

「ニッケPureHeartエッセー・イラスト大賞」は次代を担う若者を応援する新たなメセナ事業として2006年より実施しています。

エッセー大賞は、「等身大のPureHeart」をテーマに800字程度の日本語エッセーを募集しました。今回は新たに中学生を応募対象に加え、「高校以上の部」「中学の部」の二部門での審査を行いました。応募総数は22,800作品、特別審査員には乙武洋匡氏を迎え、予備審査により選ばれた学生たちとトークセッションを開催しました。

一方、イラスト大賞は2005年まで続けられた「羊のイラストキャンペーン」を発展させた年齢不問の企画として、エッセー大賞と同テーマでイラストを募集しました。子どもから大人まで思い思いの夢や思い出を描いた心温まる3,400作品の応募がありました。

エッセー・イラストとも、大賞をはじめとする入賞作品は当社ホームページに掲載し、また、今年3月には『PureHeartエッセー・イラスト集VOL.2』のタイトルにて出版しますので、是非ご覧ください。



### エッセー大賞



タイトル「虹は見えますか」  
渡辺耕太郎さん 埼玉県坂戸市



### イラスト大賞



タイトル「夜道」  
中村由起子さん 北海道札幌市

## 環境保全活動

### 一宮工場がISO14001認証取得

当社は「地球環境の保全」を企業経営における最重要課題と位置づけ、平成5年に「地球環境委員会」を設け、研究開発から製造・技術・販売・物流に至るすべての企業活動において、環境保全への取組みを進めております。

このような取組みの中で、昨年12月に当社一宮工場が環

境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001を認証取得しました。これにより、ニッケグループ全体では3事業所及び7グループ会社がISO14001を認証取得しております。



連結貸借対照表 (平成19年11月30日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>[資産の部]</b>		<b>[負債の部]</b>	
<b>流動資産</b>	<b>67,772</b>	<b>流動負債</b>	<b>37,848</b>
現金及び預金	11,227	支払手形及び買掛金	12,066
受取手形及び売掛金	27,706	短期借入金	16,670
有価証券	517	1年以内に償還予定の社債	462
たな卸資産	25,894	未払法人税等	1,669
繰延税金資産	1,265	繰延税金負債	42
その他	1,324	その他	6,936
貸倒引当金	△162	<b>固定負債</b>	<b>22,295</b>
<b>固定資産</b>	<b>70,197</b>	社債	1,117
<b>有形固定資産</b>	<b>36,426</b>	長期借入金	1,080
建物及び構築物	23,740	繰延税金負債	6,107
機械装置及び運搬具	6,135	退職給付引当金	4,171
土地	5,639	役員退職慰労引当金	135
建設仮勘定	230	長期預り敷金・保証金	9,270
その他	680	その他	412
<b>無形固定資産</b>	<b>606</b>	<b>負債合計</b>	<b>60,144</b>
のれん	217	<b>[純資産の部]</b>	
その他	388	<b>株主資本</b>	<b>67,389</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>33,165</b>	資本金	6,465
投資有価証券	25,350	資本剰余金	4,535
長期貸付金	426	利益剰余金	59,206
前払年金費用	5,037	自己株式	△2,818
繰延税金資産	583	<b>評価・換算差額等</b>	<b>9,074</b>
その他	2,001	その他有価証券評価差額金	8,897
貸倒引当金	△234	繰延ヘッジ損益	72
<b>資産合計</b>	<b>137,969</b>	為替換算調整勘定	104
		<b>少数株主持分</b>	<b>1,361</b>
		<b>純資産合計</b>	<b>77,825</b>
		<b>負債及び純資産合計</b>	<b>137,969</b>

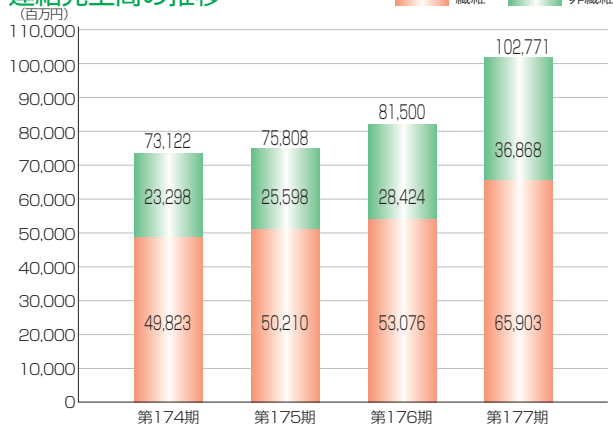
(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示している。

連結損益計算書 (平成18年12月1日から平成19年11月30日まで) (単位:百万円)

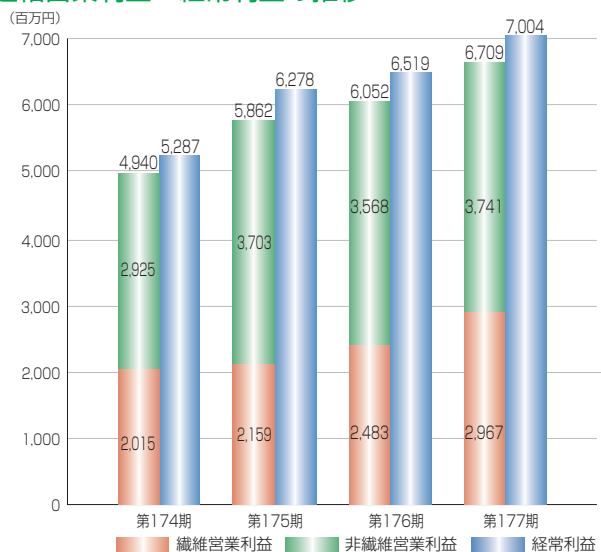
科目	金額
売上高	102,771
売上原価	79,356
<b>売上総利益</b>	<b>23,415</b>
販売費及び一般管理費	16,705
<b>営業利益</b>	<b>6,709</b>
営業外収益	
受取利息及び配当金	609
その他の	510
<b>営業外費用</b>	<b>1,120</b>
支払利息	384
その他	441
<b>経常利益</b>	<b>825</b>
<b>特別利益</b>	<b>7,004</b>
投資有価証券売却益	965
損保代理店事業売却益	91
<b>特別損失</b>	<b>1,056</b>
たな卸資産評価・廃棄損	697
適格退職年金制度廃止に伴う終了損失	55
構造改善費用	449
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>1,202</b>
法人税、住民税及び事業税	2,817
法人税等調整額	△363
<b>少数株主利益</b>	<b>23</b>
<b>当期純利益</b>	<b>4,380</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示している。

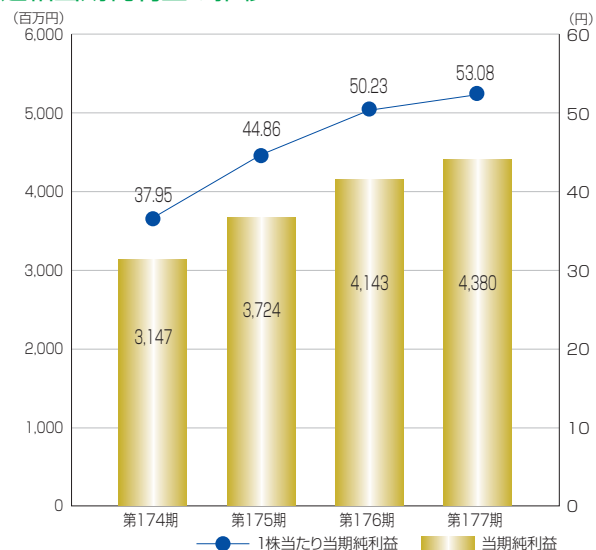
連結売上高の推移



## 連結営業利益・経常利益の推移



## 連結当期純利益の推移



## 連結株主資本等変動計算書 (平成18年12月1日から平成19年11月30日まで)

(単位:百万円)

	株 主 資 本					評価・換算差額等				少数株主 持 分	純資産 合 計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合 計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	繰延ヘッジ 損 益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成18年11月30日残高	6,465	4,532	56,234	△2,763	64,468	12,040	121	121	12,283	1,363	78,115
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当	-	-	△1,403	-	△1,403	-	-	-	-	-	-
当期純利益	-	-	4,380	-	4,380	-	-	-	-	-	-
自己株式の取得	-	-	-	△79	△79	-	-	-	-	-	-
自己株式の処分	-	6	-	24	30	-	-	-	-	-	-
持分法適用会社の減少による増減	-	-	△7	-	△7	-	-	-	-	-	-
その他	-	△2	2	-	-	-	-	-	-	-	-
株主資本以外の項目の連結会計 年度中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	△3,143	△48	△16	△3,209	△2	-
連結会計年度中の変動額合計	-	3	2,971	△54	2,920	△3,143	△48	△16	△3,209	△2	△290
平成19年11月30日残高	6,465	4,535	59,206	△2,818	67,389	8,897	72	104	9,074	1,361	77,825

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示している。

事業の種類別セグメント情報

(平成18年12月1日から平成19年11月30日まで)

(単位:百万円)

	繊維事業	非繊維事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益					
(1)外部顧客に対する売上高	65,903	36,868	102,771	-	102,771
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	35	449	484	(484)	-
計	65,938	37,317	103,256	(484)	102,771
営業費用	62,970	33,576	96,547	(484)	96,062
営業利益	2,967	3,741	6,709	-	6,709

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示している。

連結キャッシュ・フロー計算書

(平成18年12月1日から平成19年11月30日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	3,252
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△81
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,340
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	2
V 現金及び現金同等物の増減額	△1,167
VI 現金及び現金同等物の期首残高	11,935
VII 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	344
VIII 現金及び現金同等物の期末残高	11,112

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示している。

貸借対照表(平成19年11月30日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>[資産の部]</b>		<b>[負債の部]</b>	
流動資産	40,296	流動負債	19,092
現金及び預金	6,090	支払手形	1,707
受取手形	2,707	買掛金	1,790
売掛金	12,951	短期借入金	6,502
有価証券	498	未払金	1,863
製品	6,676	未払費用	1,265
原材料	1,388	未払法人税等	1,229
仕掛品	4,192	預り金	2,976
繰延税金資産	710	その他	1,756
短期貸付金	5,060	固定負債	18,066
その他	478	長期借入金	404
貸倒引当金	△459	繰延税金負債	5,907
固定資産	66,604	退職給付引当金	2,681
有形固定資産	25,763	長期預り敷金・保証金	8,860
建物	17,634	その他	214
構築物	2,623	負債合計	37,159
機械及び装置	2,582		
車両運搬具	22	<b>[純資産の部]</b>	
工具器具及び備品	306	株主資本	60,926
土地	2,568	資本金	6,465
建設仮勘定	25	資本剰余金	5,096
無形固定資産	78	資本準備金	5,064
ソフトウェア	32	その他資本剰余金	31
その他	45	利益剰余金	52,179
投資その他の資産	40,763	利益準備金	1,616
投資有価証券	24,431	その他利益剰余金	50,563
関係会社株式	5,481	自己株式	△2,814
出資金	49	評価・換算差額等	8,814
関係会社出資金	2,134	その他有価証券評価差額金	8,857
長期貸付金	3,449	繰延ヘッジ損益	△42
破産・更生債権等	332	純資産合計	69,741
長期前払費用	20		
前払年金費用	5,037	負債及び純資産合計	106,901
その他	912		
貸倒引当金	△986		
投資損失引当金	△100		
資産合計	106,901		

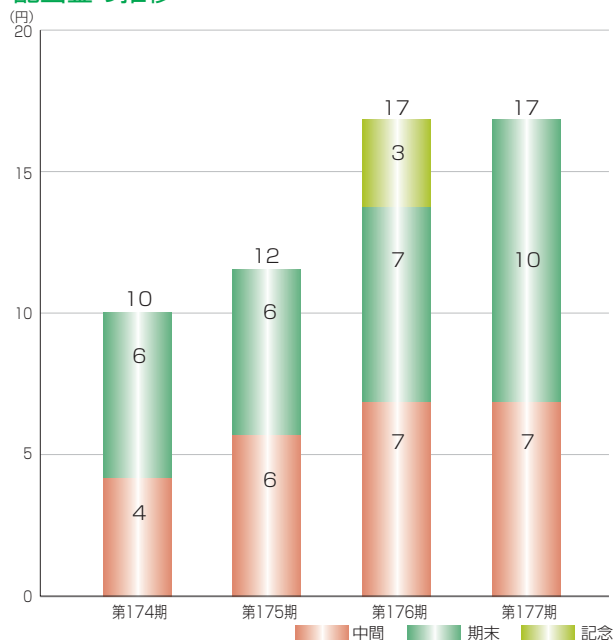
(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示している。

## 損益計算書 (平成18年12月1日から平成19年11月30日まで) (単位:百万円)

科 目	金 額	
売上高		46,416
売上原価		36,285
売上総利益		10,131
販売費及び一般管理費		5,137
営業利益		4,993
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,167	
その他	422	1,590
営業外費用		
支払利息	129	
その他	517	647
経常利益		5,936
特別利益		
投資有価証券売却益	901	901
特別損失		
関係会社株式評価損	395	
関係会社貸倒引当金繰入額	985	
構造改善費用	435	
関係会社整理損	54	1,871
税引前当期純利益		4,966
法人税、住民税及び事業税	2,202	
法人税等調整額	△412	1,789
当期純利益		3,176

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示している。

## 配当金の推移



## 株主資本等変動計算書 (平成18年12月1日から平成19年11月30日まで)

(単位:百万円)

	株 主 資 本							評価・換算差額等				純資産 合 計	
	資 本 金	資 本 剰 余 金			利 益 剰 余 金			自己株式	株主資本 合 計	その 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益		評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計
		資本準備金	その他資本 剰 余 金	資本剰余金 合 計	利益準備金	その 他 利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金 合 計						
平成18年11月30日残高	6,465	5,064	25	5,090	1,616	48,789	50,406	△2,763	59,198	11,982	△0	11,981	71,179
事業年度中の変動額													
剰余金の配当	—	—	—	—	—	△1,403	△1,403	—	△1,403	—	—	—	—
当期純利益	—	—	—	—	—	3,176	3,176	—	3,176	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	△75	△75	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	6	6	—	—	—	24	30	—	—	—	—
積立金の積立	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
積立金の取崩	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の事業 年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△3,124	△41	△3,166	—
事業年度中の変動額合計	—	—	6	6	—	1,773	1,773	△51	1,728	△3,124	△41	△3,166	△1,438
平成19年11月30日残高	6,465	5,064	31	5,096	1,616	50,563	52,179	△2,814	60,926	8,857	△42	8,814	69,741

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示している。

## ■会社概況

社名	日本毛織株式会社
設立	1896年(明治29年)12月3日
資本金	6,465,692,900円
従業員数	689名(連結4,441名)
営業品目	毛糸・毛織物その他各種繊維製品製造加工販売、ショッピングセンター、スポーツ、賃貸事業
当社ホームページ	http://www.nikke.co.jp

## ■主な事業所

本店	神戸市中央区明石町47番地
本社	大阪市中央区瓦町3丁目3番10号
東京支社	東京都中央区八丁堀1丁目2番8号
印南工場	兵庫県加古川市米田町船頭440番地
一宮工場	愛知県一宮市今伊勢町本神戸字河原1番地
岐阜工場	岐阜県各務原市鷺沼各務原町8丁目7番地
ニッケパークタウン	兵庫県加古川市加古川町寺家町173番地1
ニッケコルトンプラザ	千葉県市川市鬼高1丁目1番1号

## ■取締役、監査役および執行役員

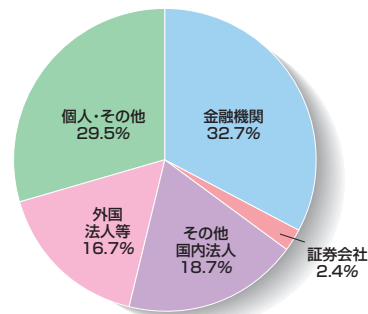
取締役会議長	中井宏明	常勤監査役	岸本紀雄
取締役社長	降井利光	常勤監査役	星田和紘
取締役常務執行役員	松村博昭	社外監査役	中村俊雄
取締役常務執行役員	山本義行	社外監査役	雀部昌吾
取締役常務執行役員	佐藤光由	執行役員	櫻根哲郎
取締役	谷憲治	執行役員	迫間満彦
社外取締役	丹羽一彦	執行役員	山本文彦
社外取締役	近藤定男	執行役員	瀬野三郎
		執行役員	岩浜順二

## ■主な関係会社

アカツキ商事株式会社	東京都墨田区両国2丁目1-3
株式会社ナカヒロ	大阪府大阪市中央区安土町3丁目5-6
アンビック株式会社	兵庫県姫路市城東町180
株式会社ニッケ機械製作所	兵庫県加古川市加古川町寺家町269-1
青島日毛織物有限公司	中国山東省青島市城陽区双元路青大工業園
江陰日毛紡績有限公司	中国江蘇省江陰市顧山鎮北国老錫張路96号

## ■株式の概況

株主数	10,604名
発行可能株式総数	192,796,000株
発行済株式総数	88,478,858株



## 大株主

株主名	所有株数
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,014,417株
株式会社三井住友銀行	3,991,000株
株式会社みずほコーポレート銀行	3,988,000株
帝人株式会社	2,905,000株
日清紡績株式会社	2,763,000株
日本生命保険相互会社	2,183,285株
株式会社竹中工務店	2,000,000株
ナテイクスプライシユローダーインクススペシャルアカウント	1,946,400株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,748,000株
株式会社損害保険ジャパン	1,690,000株

※当社の保有する自己株式5,950,583株は上記の表には含まれておりません。

## ■株主メモ

事業年度	毎年12月1日から翌年11月30日まで
定時株主総会	2月下旬
株主総会・期末配当金基準日	11月30日
中間配当金基準日	5月31日
証券コード	3201
公告方法	電子公告 <a href="http://www.nikke.co.jp/investor/koukoku/index.html">http://www.nikke.co.jp/investor/koukoku/index.html</a> (電子公告できない場合は神戸新聞に掲載します。)
株主名簿管理人	〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒530-0004 大阪市北区堂島浜1丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話(通話料無料)	0120-094-777(土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 野村證券株式会社 全国本支店

○単元未満株式の買取請求、買増請求も承っております。

○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。

電話(通話料無料) 0120-244-479(本店証券代行部)  
0120-684-479(大阪証券代行部)

ホームページアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

## 単元未満株式(1~999株の株式)の 買取請求ならびに買増請求のご案内

当社は1,000株を1単元とする単元株制度を採用しており、単元未満株式(1~999株)については、証券会社等を通じての売買ができません。単元未満株式をご所有されている株主様は、ご希望に応じて次のいずれかの方法によって単元未満株式を整理することができます。

**1 買取請求** ご所有の単元未満株式を当社に対して買取請求していただく方法。

### 【例】

例えば、株主様が50株を所有している場合、当社が50株の買取りを行い、株主様は売却代金をお受取りいただけます。

**2 買増請求** 単元株式(1,000株)までの不足分を当社に対して買増請求していただき、単元株式とする方法。

### 【例】

例えば、株主様が850株所有している場合、単元株式(1,000株)にするために必要な150株を当社から購入していただけます。

ご希望の株主様は、当社株主名簿管理人の三菱UFJ信託銀行へお申し出下さい。なお、証券保管振替制度をご利用の場合は、お取引のある証券会社までお問い合わせください。



## WEB/IR情報

最新のIR情報は  
当社ホームページでもご覧いただけます。

URL <http://www.nikke.co.jp/investor/index.html>

信頼の軌跡、さらなる飛躍



日本毛織株式会社



知るほどなるほど、元気なニッケが見えてくる。

<http://www.nikke.co.jp>



大豆油インクを使用しています。

表紙に使用している作品は、1930年代に当社ポスターに使用された奥山儀八郎作の版画複製です。